

～長田区のあゆみ・現状～

ながたの歴史

- 1931(昭和 6)年：区制施行により林田区が誕生
- 1945(昭和20)年：長田区と改称
- 1993(平成 5)年：長田区総合庁舎(現庁舎)完成
- 1995(平成 7)年：阪神・淡路大震災により甚大な被害を受ける
- 2009(平成21)年：鉄人28号モニュメント完成
- 2025(令和 7)年：長田区制80周年



特徴

- ・9区中最も面積が小さく、11.36平方キロメートル、南北約6km、東西約3km（東西は歩いて1時間以内）となっています。
- ・高取山や獅子ヶ池などの自然豊かな北部、歴史ある長田神社や震災復興を記念した鉄人28号のモニュメントのある新長田駅付近を中心とした中部、また南部には長田港があり下町情緒が残るなど、それぞれ異なる特色があります。



【高取山頂】



【獅子ヶ池】



【長田神社】



【長田港】

人口の推移

国勢調査の人口推移では、昭和40年の約21万4千人をピークに減少し続けており、令和2年は震災直後の人口も下回る、約9万5千人となり、ピーク時の約44%になっています。直近の令和6年6月1日時点では、92,679人となっています。

外国人数

長田区は中央区に次いで外国人が多く（令和6年5月末時点：8,072人）、人口に占める外国人の割合は約8.7%と非常に高くなっています。多い順に、韓国・朝鮮（45.5%）、ベトナム（20.4%）となっており、最近では、ミャンマーやスリランカも増加傾向にあります。

空き家率

空き家率は、全市が13.3%であるのに対し、長田区では18.3%と大幅に上回っています。空き家率が30%を超えている地域もある等、エリアによって大きな差があります。

～長田区の取り組み～

1. 人材の交流促進・にぎわいの創出

神戸まつり長田フェスティバルの開催や地域団体による祭り等を支援し、人の交流・連帯の促進、まちのにぎわい創出を図っています。長田で活動する様々な人々が交流し、繋がり連携を深める機会を設けているほか、区内の高校や大学と連携し、高校生や大学生が地域に関わる交流の場づくりを支援しています。



【長田フェスティバル】



【様々な人が交流・繋がるイベント】

2. 長田の魅力を活かしたまちづくり

空き家・空地の適正管理を促すとともに、多世代交流や起業家支援を目的とした空き家の利活用促進に取り組んでいます。駒ヶ林漁港や高取山など豊かな自然を活かした活動に対する支援や、「ビーチサンダル発祥の地」のPR、ものづくり企業での見学・体験ができるイベントなど、長田ならではの多様な魅力の発信を行っています。また、区民の皆様が自ら企画・提案・実施する、魅力あるまちづくりのための活動に支援を行っています。



【漁業体験ツアー（長田港）】



【開工神戸】

3. みんなが暮らしやすいまちづくり

地域の子育てイベント情報提供ツール「ためまっぷながた」の充実や、幅広く地域住民が参加できる居場所づくり、災害時に要援護者に対して効果的な支援を行う体制づくり、むし歯予防や絵本配布をはじめとしたこどもの健康づくりを行っています。また、夏祭りや清掃活動などの地域活動を通じた、区内在住外国人や外国人留学生と地域住民との交流の促進や、地域共生コーディネーターによる児童館・保育所でのベトナム人親子のコミュニケーション支援等を行い、長田で暮らす人や働く人、高齢者、障害者、外国人など、誰もが安心・安全に過ごせるまちづくりの実現に向けて取り組んでいます。



【外国人留学生との交流】

～これからの神戸市や長田区～

2025

2045

2025

神戸アリーナ完成
大阪・関西万博が開催
神戸空港で国際チャーター便の運用開始

2027

完成予定
三宮に新たなバスターミナル（1期）が
2027関西が開催
WMG（ワールドマスターズゲームズ）

2028

神戸市役所本庁舎2号館完成予定
西市民病院が若松公園で開院

2030

神戸空港に国際定期便の運用開始予定

2035

JR三ノ宮新駅ビル開業予定

2040

（2024年6月比…約13%減）
長田区人口が約8万人になる
（2024年5月…32.7%）
長田区内の高齢化率が36.8%になる

2045

長田区が100周年を迎える

※今後、変更になる可能性があります

新長田駅南地区 市街地再開発事業



再開発事業の地域内では、全44棟の建物のうち43棟がすでに完成しています。残りの1棟では県立総合衛生学院などが入る「（仮称）新長田キャンパスプラザ」が令和6年10月に完成予定となっており、再開発事業のすべての建物が完成する予定です。

地下鉄長田駅前再整備



【完成イメージ】

歴史ある長田神社へと続く、まちの玄関口にふさわしい駅前空間とするため、駅前の駐輪場を移設し、歩行者と自転車の動線を確保し、誰もが安心・安全に歩けるように整備を行います。舗装やベンチ、照明等を整備し、人々が集える心地よい空間とする予定です。

大阪湾岸道路西伸部(六甲アイランド北～駒栄)開通



※浪速国道事務所HP

(<https://www.kkr.mlit.go.jp/naniwa/prj/17/index.html>) を一部改編

東灘区から長田区まで大阪湾岸道路を延伸する工事が進められており、阪神高速神戸線の慢性的な渋滞の解消や、物流の効率化による関西全体の経済発展が期待されています。